# 取扱説明書

ご使用の前に
よくお読みください。

# That's

## 車いす仕様車

*このたびはHonda車をお買い上げいただき、*
*ありがとうございます。*
*この取扱説明書は、That's 車いす仕様車に*
*装備された専用機構の取り扱いについてのみ説明してあります。*
*その他の内容についてはThat's 取扱説明書をご覧ください。*

## 安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

**⚠危険**
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

**⚠警告**
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

**⚠注意**
指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

## その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

**アドバイス**
お車のために守っていただきたいこと
（車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています）

**知　識**
知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

# もくじ

# 各部の名称

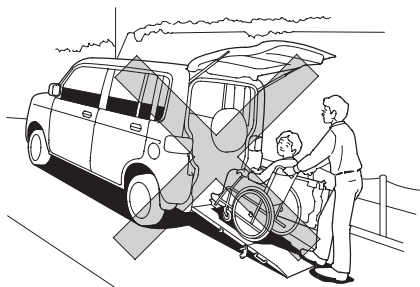
バックドア
二点式シートベルト
ロアゲート
ロアゲートランプ
スロープ

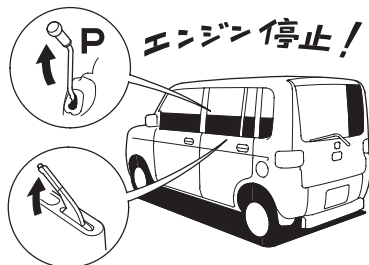
車いす固定装置まわり

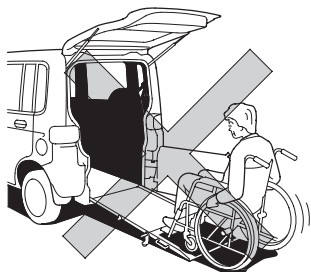
固定用タイダウンベルト（手動）
固定
解除
固定用ワイヤーフック（電動）
固定装置操作スイッチ

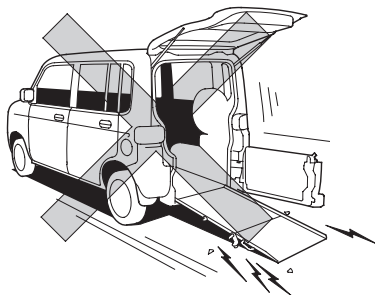
# 安全ドライブのための必読ポイント

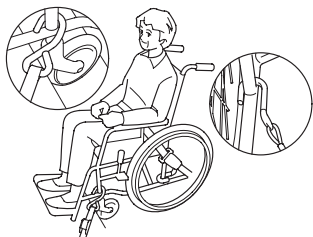
**坂道での車いすの乗降や固定操作はしない。**

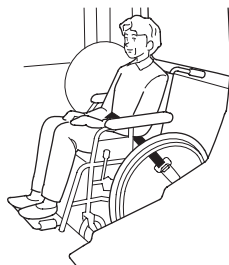
- 車いすの乗降や固定操作は必ず平坦な場所で行ってください。
  坂道では、車や車いすが不安定になり、転倒や落下などにより思わぬけがをすることがあります。

**車いすの乗降や固定操作をするときは、エンジンを止めて。**

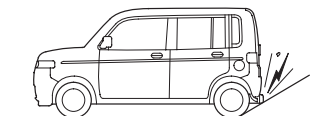
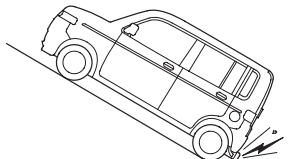
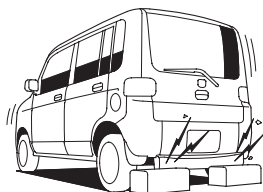
- 車いすの乗降や固定操作をするときは、パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをⓅに入れ、必ずエンジンを止めましょう。
  不意に車が動き出したりして、思わぬけがをすることがあります。

### 車いすの乗降や固定操作は介護する人が行う。

●車いすの乗降や固定操作は、道路状況に注意し、介護する人が行ってください。
車いすに座っている人が自力でスロープを走行したり、固定操作を行うと、スロープから落ちたり体の一部をはさんだりしてけがをするおそれがあります。

### スロープを降ろしたままでの車の移動はしない。

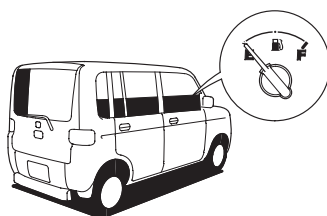
●スロープや車両が破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 車いすは確実に固定。

●走行中に車いすが動いて倒れたりしてけがをするおそれがあります。

## 走行するときはシートベルトを必ず着用。

●車いすに座っている人にも必ずシートベルトを着用させてください。

## 路面の段差などに注意して。

● この車は、ベース車に対し最低地上高が低く設計されているので、次のような場合にマフラーや床下を損傷するおそれがありますので、十分に注意してください。
  ・車止めのある場所への駐車
  ・路肩に沿っての駐車
  ・路肩等段差のある場所への乗り降り
  ・平坦路から上り坂および下り坂から平坦路への乗り入れ
  ・凹凸やわだちのある道路の走行
  ・くぼみ(穴)のある箇所の通過

## 燃料切れに注意。

● この車は、ベース車に対し燃料タンクの容量が少なく設計されているので、燃料の残量に注意してください。

燃料タンクの容量　→10ページ

# 装備の使いかた

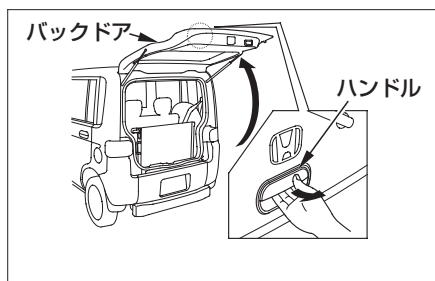
## バックドア・ロアゲート

### ●施錠・解錠

テールゲート　→That's取扱説明書

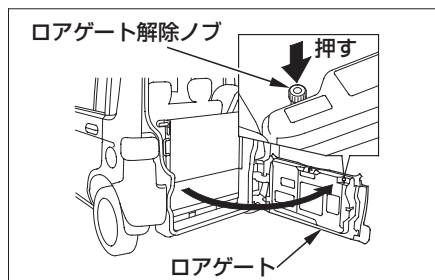
### ●開けかた

**バックドア**

解錠してから、ハンドルを引き静かに引き上げて開けます。
いっぱいに開いてお使いください。

バックドア
ハンドル

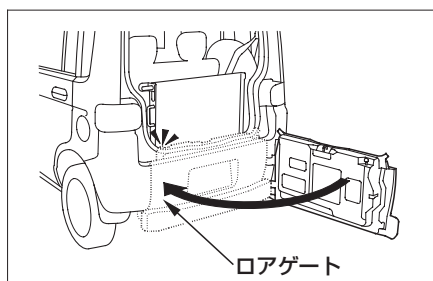
**ロアゲート**

①バックドアを開けます。
②ロアゲート解除ノブを押しながら、静かに開けます。

ロアゲート解除ノブ
押す
ロアゲート

### ●閉めかた

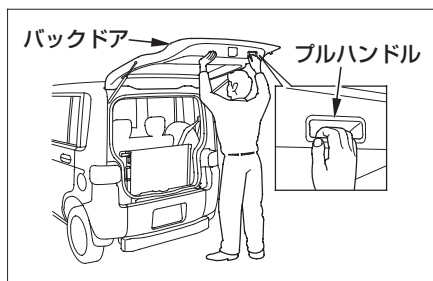
先にロアゲートを閉めてからバックドアを閉めます。

**ロアゲート**

ロアゲートを静かに動かし、手で押さえつけるように閉めます。

ロアゲート

ロアゲートが完全に閉まっていることを確認します。

**バックドア**

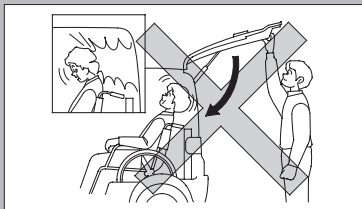
①ロアゲートを閉めます。
②バックドアを閉めます。
閉めるときはプルハンドルを利用してください。

バックドア
プルハンドル

## ⚠注意

● バックドア・ロアゲートを閉めるときは頭をぶつけたり、手などをはさまないように注意してください。

● エンジンをかけた状態で排気管の後方に立たないでください。
やけどなど思わぬけがをすることがあります。

● 車いす乗車スペース内には確実に固定された車いすに座った人以外の人を乗せないでください。
ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。

● バックドアを閉めるとき、車いすに座っている人の頭にドアをぶつけないように十分注意してください。

## 知 識

● バックドア・ロアゲートを開けたまま走行しないでください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

● 風の強いときや坂道などでバックドア・ロアゲートを開けると、ロアゲートが急に開いたり閉まることがあります。
安全のため、開閉は必ずゆっくり行ってください。

● バックドア・ロアゲートの破損を防ぐために、次のことに十分気をつけてください。
  - バックドアは、必ずロアゲートが完全に閉まっている状態で閉めてください。
  - ロアゲートの開閉は、バックドアがいっぱいに開いている状態で行ってください。
  - 開いているロアゲートに寄りかかるなどの大きな力を加えないでください。

## 燃料タンクの容量

タンク容量：　25 ℓ

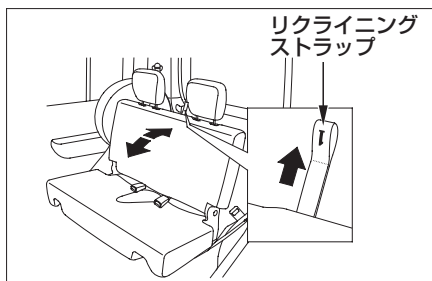
知　識

- この車はベース車に対し燃料タンクの容量が少なく設計されています。
  燃料の残量に気をつけてください。

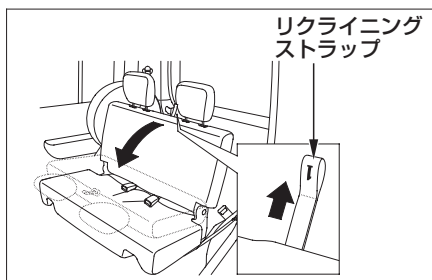
## リヤシート

タイプ別装備

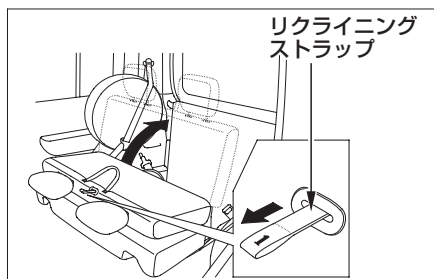
### ●背もたれの調節

リクライニングストラップ(黒)を引き上げながら、背もたれの角度を調節します。



### ●背もたれの倒しかた

リクライニングストラップ(黒)を引き上げながら、背もたれを前に倒し、“カチッ”と音がするまで押さえて固定します。

### ●背もたれの起こしかた

リクラインニングストラップ(黒)を引きながら、背もたれを起こして固定します。

リクライニング
ストラップ

## ⚠注意

- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- 倒した背もたれの上には、人を乗せて走行しないでください。
  また、車いす乗車スペース内には確実に固定された車いすに座った人以外の人を乗せて走行しないでください。
  ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。

### 知 識

- 背もたれを起こしたときは、背もたれを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- リヤシートに乗車するときは、左右 2 カ所にある固定用タイダウンベルト(黄)を取り外して、フロントシートの背もたれにあるポケットに収納してください。

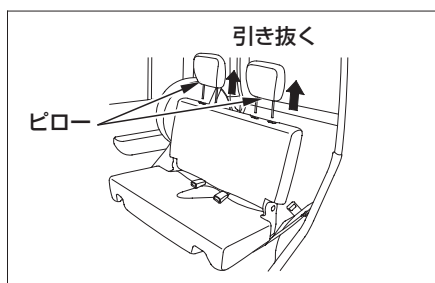
固定用タイダウンベルトの脱着
→35ページ

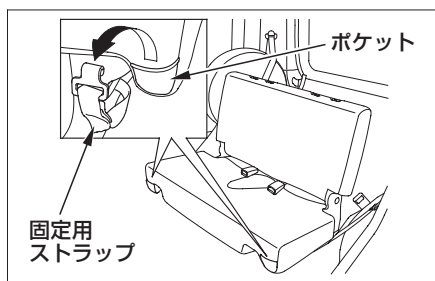
### ●リヤシートのはね上げかた

①フロントシートを前方へ動かします。

フロントシートの前後位置調節

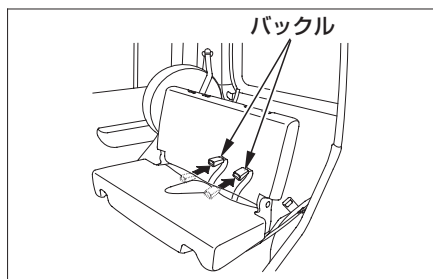
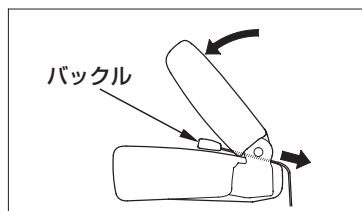
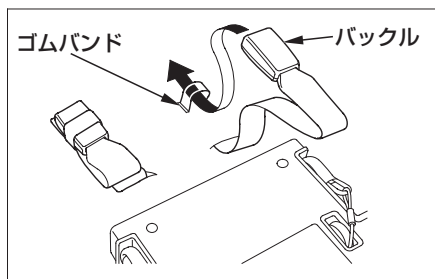
→That's取扱説明書

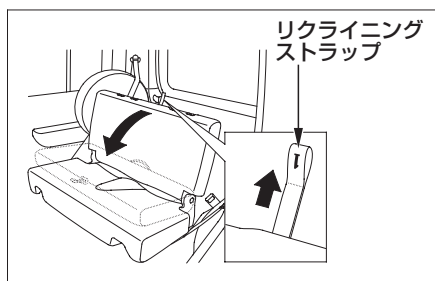
②ピローを取り外します。


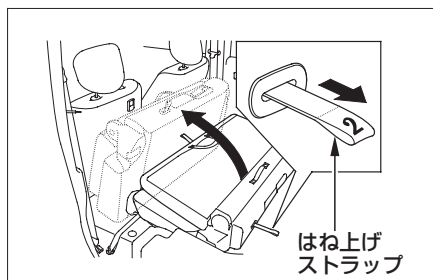

③座面の前側にあるポケットから固定用ストラップを取り出します。


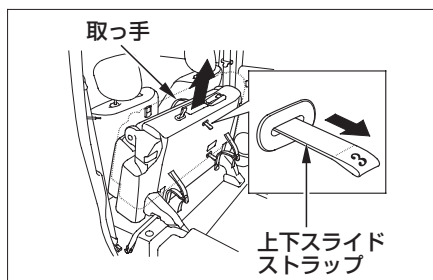
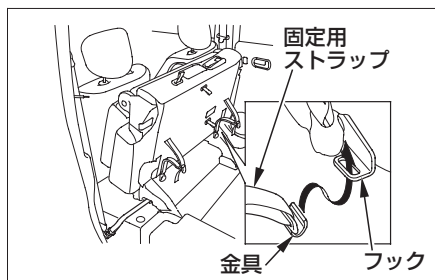
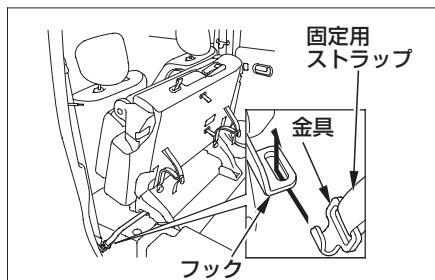

④リヤシートベルトのバックルを、背もたれと座面の間からシートの後側へ抜き取ります。



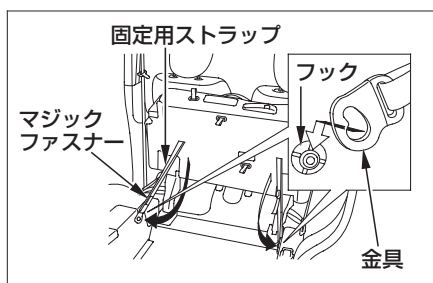
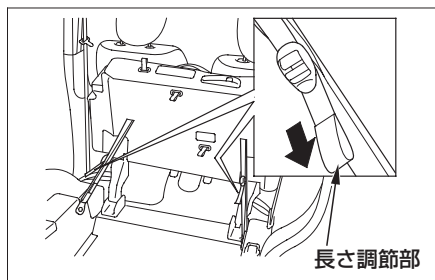
**知　識**

- シートベルトのバックルが抜き取りにくいときは、背もたれを前に倒した状態にすると抜き取りやすくなります。

⑤車いす乗車スペースの床面にあるゴムバンドに、リヤシートベルトのバックルを収納します。



⑥リクライニングストラップ(黒)を引き上げながら背もたれを前に倒し、“カチッ”と音がするまで押さえて固定します。



⑦はね上げストラップ(黄)を引いて、シート全体を前へはね上げて固定します。



⑧上下スライドストラップ(黄)を引いて、取っ手を持ってリヤシートを“カチッ”と音がするまで上へ引き上げ、確実に固定します。

⑨右側の固定用ストラップの金具をフックにかけます。

左側の固定用ストラップの金具はフックの後方よりスライドさせながらかけてください。

知　識

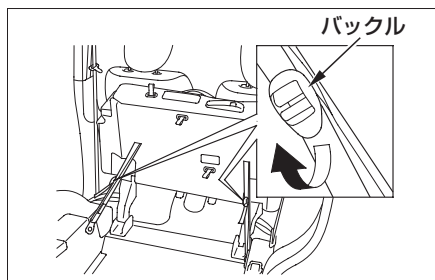
● リヤシートを引き上げて、確実に固定していない状態で固定用ストラップをかけないでください。

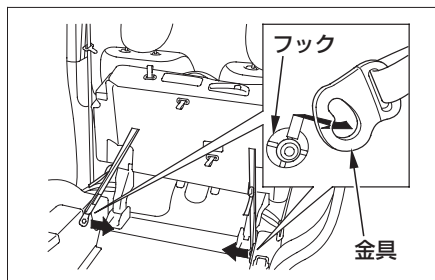
⑩シート裏面の左右 2 カ所に、マジックファスナーで取り付けられている固定用ストラップを外し、金具をフックにかけて下側にスライドさせて確実に固定します。

⑪固定用ストラップの長さ調節部を引いて、固定用ストラップがたるまないように調節します。

長さ調節部

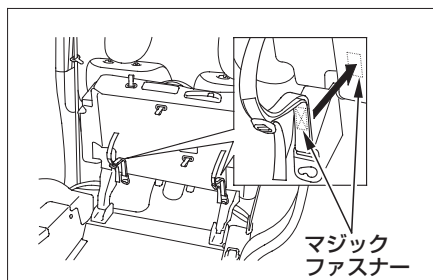
知 識

- 固定用ストラップは、必ず4カ所とも金具をフックに確実にかけて固定してください。全て固定されていないと、ブレーキをかけたときなどに、シートを支えきれないことがあります。
- リヤシートをはね上げた状態でご使用の場合は、フロントシートのスライド量およびリクライニング量が制限されます。

### ●元に戻すとき

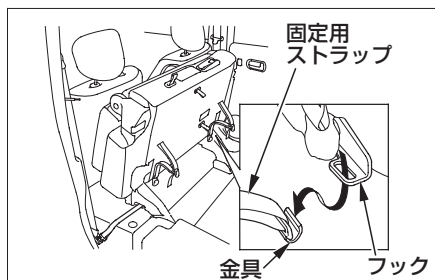
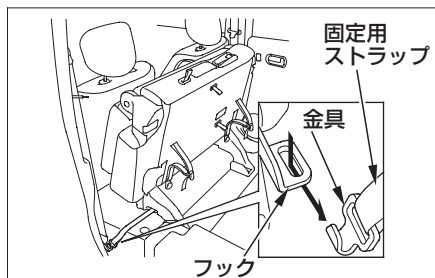
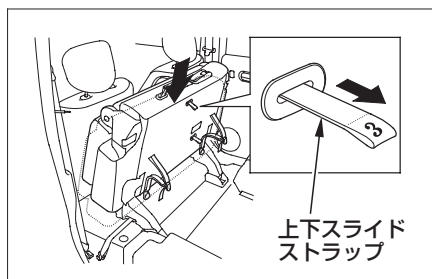
①シート裏面の固定用ストラップのバックルを引き上げて長さ調節部をゆるめます。



②固定用ストラップの金具を上側にスライドさせてフックから外します。



③固定用ストラップをシート裏面にマジックファスナーで取り付けます。



**知　識**

- 固定用ストラップは、シート裏面の所定の位置に正しく取り付けてください。取り付け位置や方向が正しくないと、シートをスライドさせたときに固定用ストラップが引っかかり、スライドできなくなることがあります。

④右側の固定用ストラップの金具をフックから外します。

左側の固定用ストラップの金具はフックの後方へスライドさせながら外してください。

⑤上下スライドストラップ(黄)を引いて、シートを“カチッ”と音がするまで下に押し下げ、確実に固定します。

⑥シート戻しレバーを引きながら、シート全体を静かに降ろして固定します。

シート戻し
レバー

アドバイス

●シート戻しレバーを引いてシートを戻すときは、必ずシートを下に押し下げて確実に固定した状態でレバーを操作してください。
シートを押し下げて確実に固定されていない状態でシートを戻す(降ろす)と、シートのカバーやライニングに傷をつけるおそれがあります。

×　○
下げる

知　識

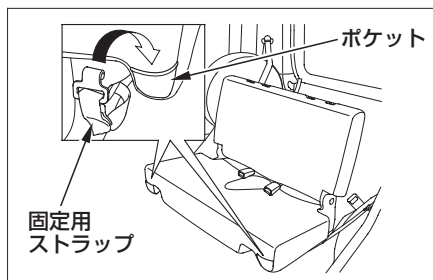
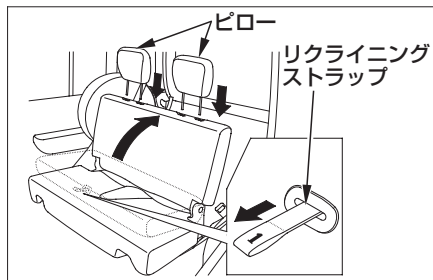
●シート戻しレバーを引いても、シートが固定されて動かない場合はロック解除ストラップ(黒)を引いてから再度、シート戻しレバーを操作してください。

ロック解除ストラップ
→21ページ

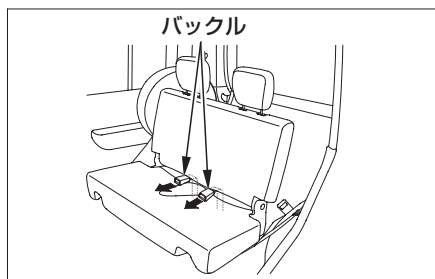
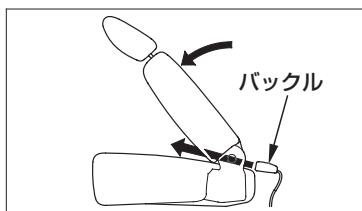
⑦シート座面の前側にあるポケットに固定用ストラップを収納します。

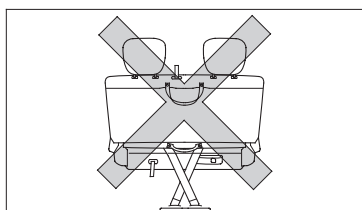
ポケット
固定用
ストラップ

⑧リクライニングストラップ(黒)を引きながら背もたれを起こし、ピローを取り付けます。

ピロー
リクライニング
ストラップ

⑨リヤシートベルトのバックルを、背もたれと座面の間からシートの前側へ引き出します。

バックル

知　識

- シートベルトのバックルが引き出しにくいときは、背もたれを前に倒した状態にすると引き出しやすくなります。

バックル

- シートベルトのバックルを引き出すときは、バックルが交差しないようにしてください。

⚠注意

- 操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意してください。
- シート戻しレバーを引きながら、シートを前後にゆするとシートが外れる場合があり、けがをするおそれがあります。

知　識

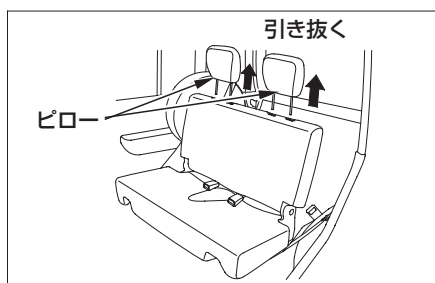
- はね上げたときや元に戻したときは、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

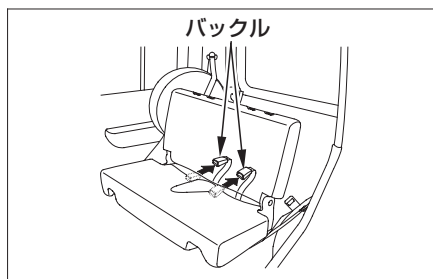
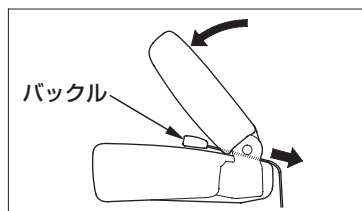
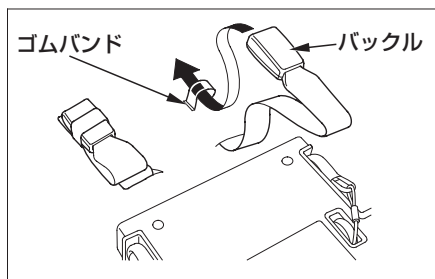
## ●リヤシートの取り外し

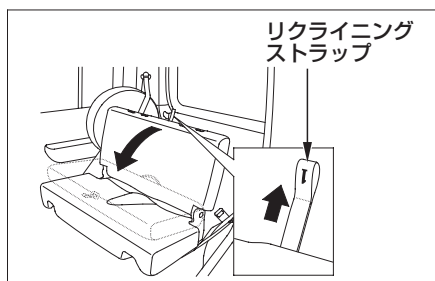
①フロントシートを前方へ動かします。

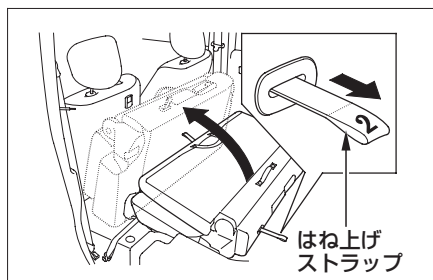
フロントシートの前後位置調節

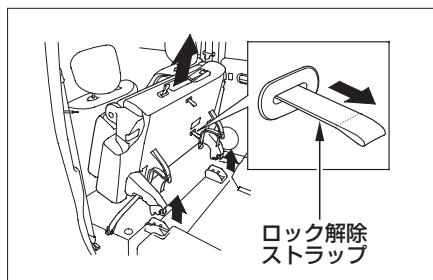
→That's取扱説明書

②ピローを取り外します。

③リヤシートベルトのバックルを、背もたれと座面の間からシートの後側へ抜き取ります。

**知　識**

●シートベルトのバックルが抜き取りにくいときは、背もたれを前に倒した状態にすると抜き取りやすくなります。

④車いす乗車スペースの床面にあるゴムバンドに、リヤシートベルトのバックルを収納します。


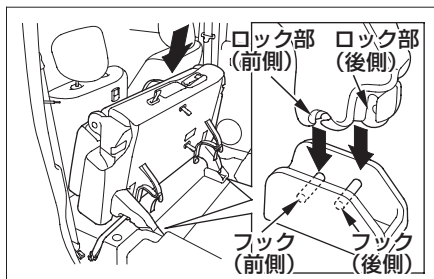

⑤リクライニングストラップ(黒)を引き上げながら背もたれを前に倒し、“カチッ”と音がするまで押さえて固定します。



⑥はね上げストラップ(黄)を引いて、シート全体を前へはね上げて固定します。



⑦ロック解除ストラップ(黒)を引いてリヤシートを取り外します。

## ●リヤシートの取り付け

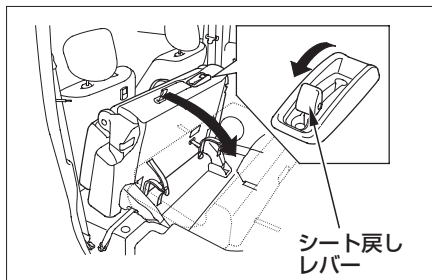
①フロントシートを前方へ動かします。

フロントシートの前後位置調節
→That's取扱説明書

②シート本体のロック部(前側)と床面のフック(前側)の位置を合わせてシートを取り付け、続けてシート本体のロック部(後側)と床面のフック(後側)をかみ合わせます。


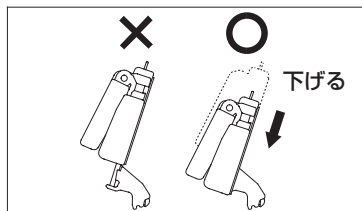

シートを軽くゆすって、確実に取り付けられているかを確認します。
確実に取り付けられなかったときは、ロック解除ストラップを引いてシートを外し、再度、取り付けなおしてください。

ロック解除ストラップ →21ページ

③シート戻しレバーを引きながら、シート全体を静かに降ろして固定します。


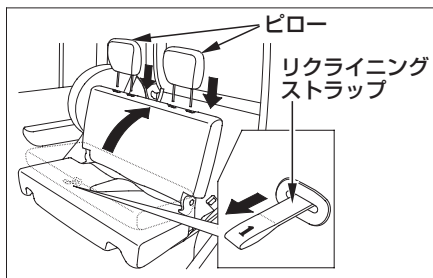
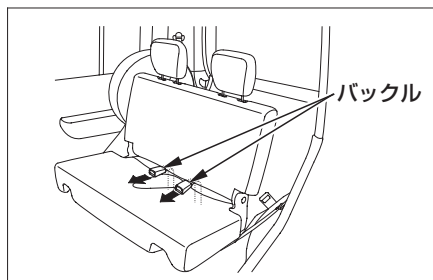

### アドバイス

- シート戻しレバーを引いてシートを戻すときは、必ずシートを下に押し下げて確実に固定した状態でレバーを操作してください。
  シートを押し下げて確実に固定されていない状態でシートを戻す(降ろす)と、シートのカバーやライニングに傷をつけるおそれがあります。

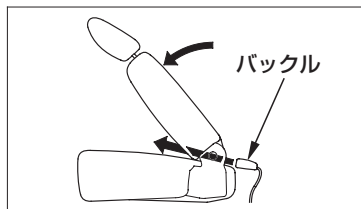
知　識

● シート戻しレバーを引いても、シートが固定されて動かない場合はロック解除ストラップ(黒)を引いてから再度、シート戻しレバーを操作してください。

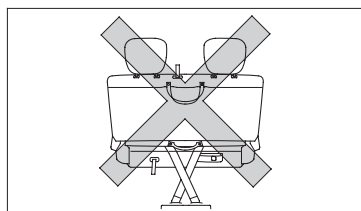
ロック解除ストラップ
→21ページ

④リクライニングストラップ(黒)を引きながら背もたれを起こし、ピローを取り付けます。

ピロー
リクライニングストラップ

⑤リヤシートベルトのバックルを、背もたれと座面の間からシートの前側へ引き出します。

バックル

知　識

● シートベルトのバックルが引き出しにくいときは、背もたれを前に倒した状態にすると引き出しやすくなります。

バックル

● シートベルトのバックルを引き出すときは、バックルが交差しないようにしてください。

## ⚠注意

- リヤシートを持ち運ぶときは必ず二人以上で行ってください。
- リヤシートの取り付け、取り外し、持ち運びの際は手や足などをはさまないように十分注意してください。
- 取り外したリヤシートを車いす乗車スペースにのせたまま走行しないでください。
  ブレーキをかけたときなどに、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートが固定されていないと、走行中にシートが動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シート戻しレバーを引きながら、シートを前後にゆするとシートが外れる場合があり、けがをするおそれがあります。

### 知　識

- シートを取り付けたときは、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- 車検を受けるときは、リヤシートを取り付けてください。シートを取り付けていないと、車検証の記載内容の変更が必要になります。

## 二点式シートベルト

この車は、車いすに座っている人専用のELR付二点式シートベルトを装備しています。

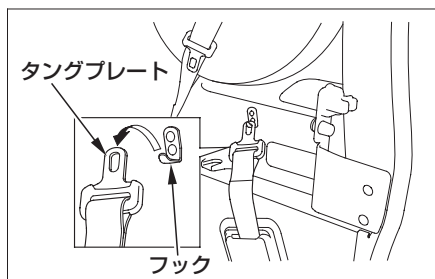
ELR付二点式シートベルト:
体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

シートベルト　→That’s取扱説明書

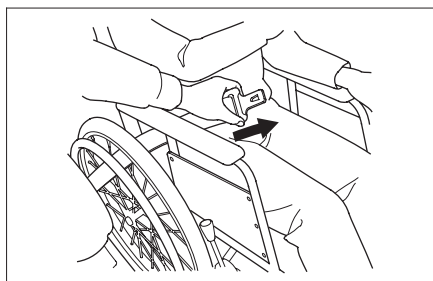
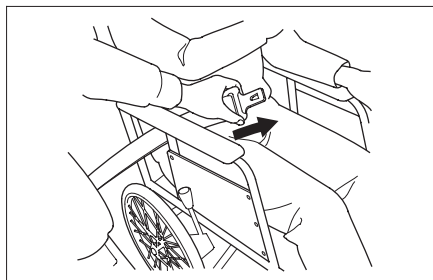
### 知　識

- この二点式シートベルトには、チャイルドシート固定機構は付いていません。

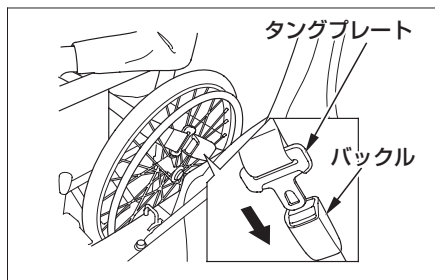
## ●着用のしかた

①タングプレートをフックより取り外します。


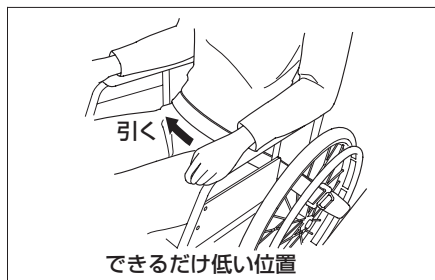
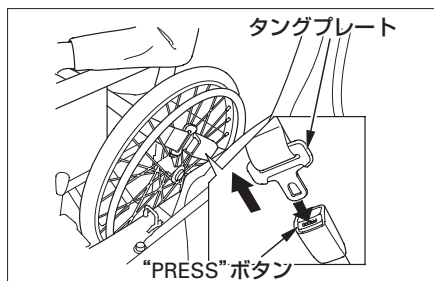

②タングプレートをつかみ、車いすの主車輪のスポーク、シート部側面の開口部を通します。

### 自走式の車いす

### 介護式の車いす

**知　識**

- 車いすの種類によってシートベルトの通しかたが異なります。
  図を参考にして、ベルトを通してください。

③ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中に“カチリ”と音がするまで差し込みます。

タングプレート
バックル

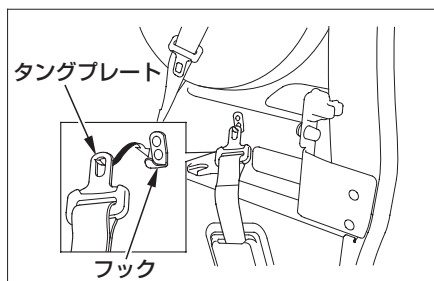
④ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるように戻し方向へ引き、たるみがないように身体に密着させます。

引く
できるだけ低い位置

⑤外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。
ベルトが自動的に収納されますので、タングプレートを車いすの主車輪のスポーク、シート部側面の開口部を通しベルトを外します。

タングプレート
“PRESS”ボタン

**知 識**

● ベルトが自動的に巻き取られますので、タングプレートに手を添えてゆっくり巻き取らせてください。

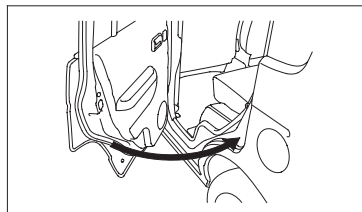
⑥ベルトを使用しないときは、タングプレートをフックに取り付けます。

タングプレート
フック

## 車いすの乗せかた、降ろしかた

### ⚠注意

- 車いすの乗降や固定操作をするときは、パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをⓅに入れ、必ずエンジンを止めてください。
  不意に車が動き出したりして、思わぬけがをすることがあります。
- 車いすの乗降や固定操作は介護する人が行ってください。
  車いすに座っている人が自力でスロープを走行したり、固定操作を行うとスロープから落ちたり、体の一部をはさんだりしてけがをするおそれがります。
- 車いすは確実に固定してください。確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどに車いすが動いたり、倒れたりして傷害を受けるおそれがあります。

### 知　識

- 車いすの乗降や固定操作は平坦な場所で、周囲の安全を十分確認してから行ってください。
- スロープの耐荷重は200kgです。
- この車はベース車に対し後席ドアの開口部が一部せまくなっています。
  ドアを閉めるときは、乗っている人の手などをはさまないように注意してください。

## ●車いすの乗せかた

### 1 スロープを降ろす

**⚠注意**

- スロープを操作するときは、手などをはさまないように十分注意してください。

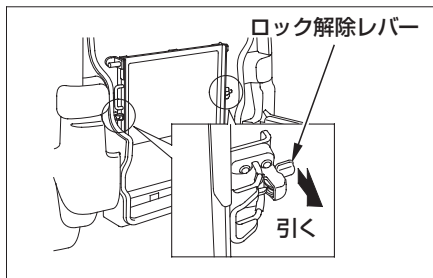
**アドバイス**

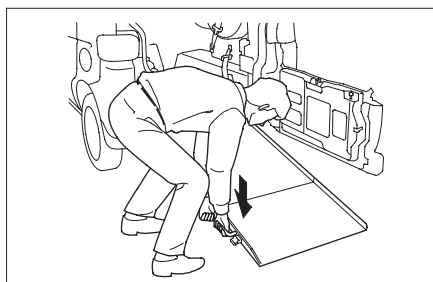
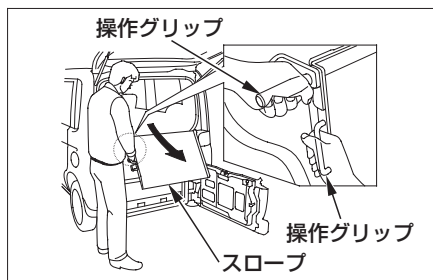
- スロープを降ろすときは、バックドア、ロアゲートをいっぱいに開けてから行ってください。
  いっぱいに開けていないと、ロアゲートとスロープが干渉してロアゲートに傷がつくおそれがあります。

①バックドア、ロアゲートの順に開けます。

→8ページ

②左右のロック解除レバーを引いて、ロックを解除します。

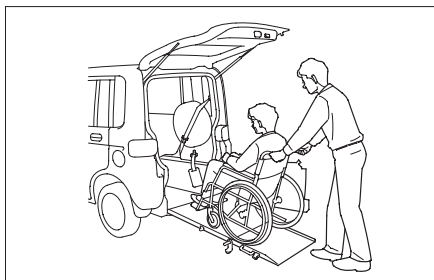
ロック解除レバー
引く

③操作グリップを持って、折りたたみ式のスロープを展開し地面に降ろします。

操作グリップ
操作グリップ
スロープ

## 2車いすを乗せる

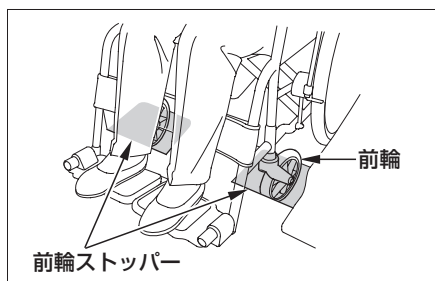
① リヤシート装備車

リヤシートをはね上げます。

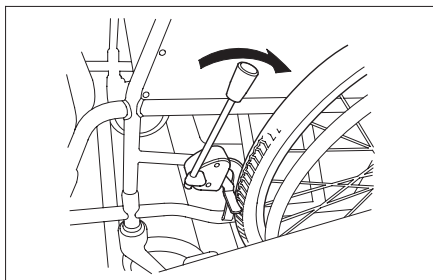
リヤシートのはね上げかた　→12ページ

②介護する人が車いすをゆっくり押しながら、車内に乗せます。

③車いすの前輪が前輪ストッパーにあたる位置までゆっくり前進させます。

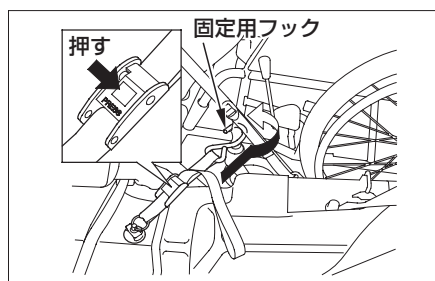
前輪

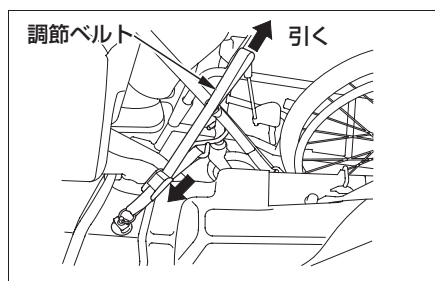
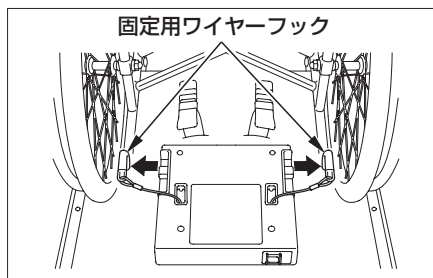
前輪ストッパー

## ⚠注意

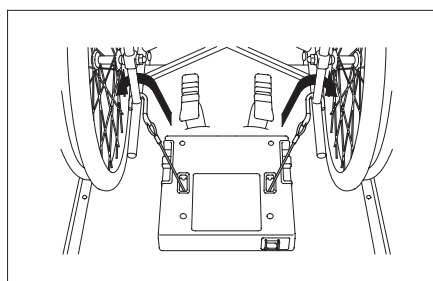
- 車いすを車の所定の位置に乗せるときは、座っている人の頭や手足の位置を確認しながら行い、車両にぶつかったり、車いすとの間にはさまれないように十分注意してください。
  また、介護する人が車両に頭をぶつけないように十分注意してください。

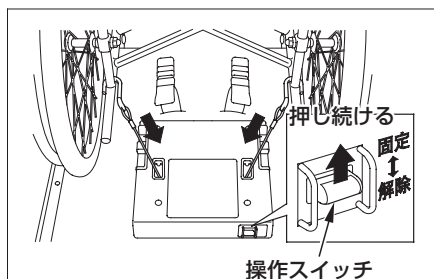
④車いすのブレーキをかけ車輪をロックさせます。

## 3車いすを固定する

①左右2カ所にある、固定用タイダウンベルト(黄)の"PRESS"と表示されている部分を押して固定用フックを引き出し、車いす前側の縦フレームの後側に掛けます。

押す
PRESS
固定用フック

②固定用タイダウンベルトの調節ベルトを引いて、たるみをなくします。

調節ベルト
引く

③固定用ワイヤーフックを横方向にずらして外します。

固定用ワイヤーフック

④固定用ワイヤーフックを車いす後側の縦フレームの前側に掛けます。

⑤固定装置操作スイッチを“固定”方向へ装置のモーターが停止するまで押し続けます。

押し続ける
固定
↕
解除
操作スイッチ

⑥シートベルトを着用します。

二点式シートベルト →24ページ

## ⚠注意

- 固定用タイダウンベルトは車いすの縦フレームの後側に、固定用ワイヤーフックは車いすの縦フレームの前側に掛け、車いすを前後方向に引くようにしてください。
  誤った掛けかたをすると、車いすを確実に固定できないおそれがあります。
- 操作スイッチを押すとき、ワイヤー部と車いすなどに体がはさまれないように十分注意してください。
- 走行する前に、車いすが確実に固定されていることを確認してください。
  確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどに車いすが動いたり、倒れたりして傷害を受けるおそれがあります。

### アドバイス

- 車いすを確実に固定しないで走行すると、ブレーキや衝突のときなどに車いすがぶつかったり、倒れたりして破損するおそれがあります。

## 4スロープを格納する

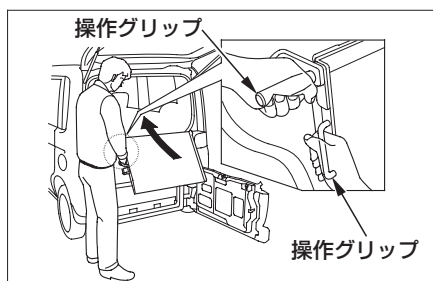
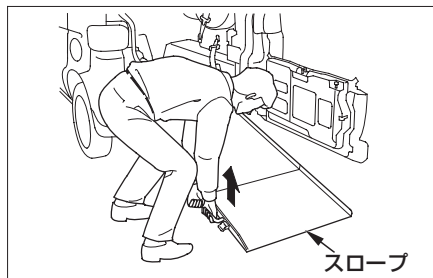
**⚠注意**

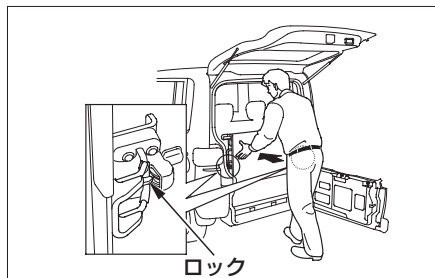
- スロープを操作するときは、手などをはさまないように十分注意してください。

①操作グリップをもって、スロープを折りたたみ格納します。

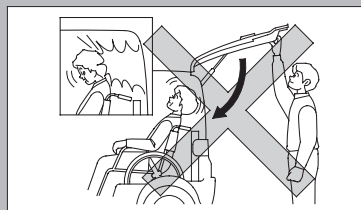
スロープ

操作グリップ

操作グリップ

②スロープを“カチッ”と音がするまで押して左右のロックを確実にかけます。

ロック

③ロアゲート、バックドアの順に閉めます。

→8ページ

## ⚠注意

- バックドアを閉めるとき、車いすに座っている人の頭にドアをぶつけないように十分注意してください。
- ロアゲートを閉めるとき、スロープとロアゲートに手などをはさまないように十分注意してください。

## ●車いすの降ろしかた

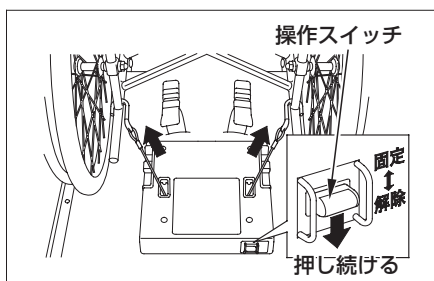
### 1スロープを降ろす

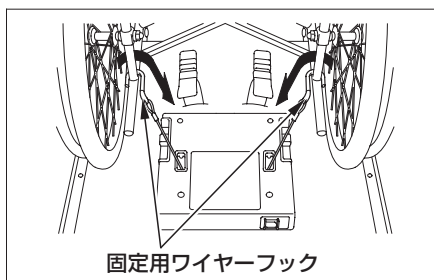
バックドア・ロアゲートを開いて、スロープを降ろします。

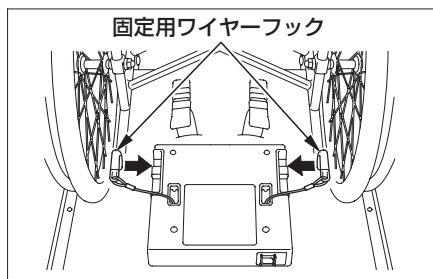
スロープを降ろす　→28ページ

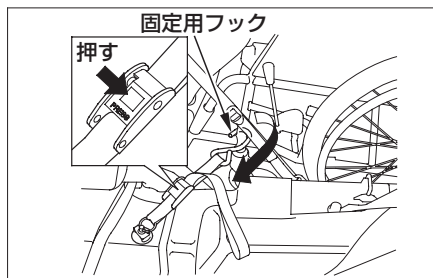
### 2車いすの固定を解除する

①固定装置操作スイッチを“解除”方向へ装置のモーターが停止するまで押し続けます。

操作スイッチ
固定
解除
押し続ける

②固定用ワイヤーフックを車いすから取り外します。

固定用ワイヤーフック

③固定用ワイヤーフックを格納します。

固定用ワイヤーフック

④左右2カ所にある、固定用タイダウンベルト(黄)の“PRESS”と表示されている部分を押してベルトをゆるめ、固定用フックを外します。

固定用フック
押す
PRESS

## 3 車いすを降ろす

車いすを乗せるときと、逆の手順で降ろします。

車いすを乗せる　→29ページ

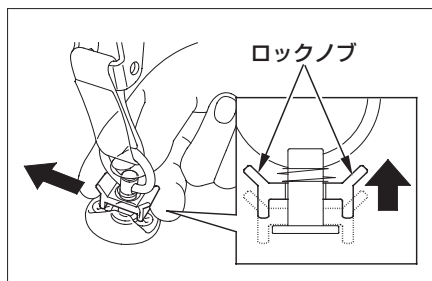
## 4 スロープを格納する

スロープを格納して、ロアゲート・バックドアの順に閉めます。

スロープを格納する　→32ページ

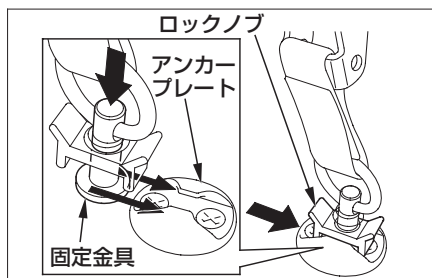
## 固定用タイダウンベルトの脱着

### ●取り外しかた

ロックノブを引き上げながら横にスライドさせて取り外します。

ロックノブ

### ●取り付けかた

固定金具を押し込んだまま、アンカープレートに横からはめ込み、ロックノブを図の位置に合わせます。

ロックノブ
アンカープレート
固定金具

### ⚠注意

- 固定用タイダウンベルトを取り付けたときは、確実に固定されていることを確認してください。

# 点検整備について

## 点検整備方式

| 点検整備項目 | | 点検時期 日常点検 | 点検時期 12か月ごと | 点検時期 24か月ごと | 交換時期(年) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 固定装置 | 作動のスムーズさ、異音 | ○ | ○ | ○ | | |
| 固定装置 | ワイヤーの切損、腐食 | ○ | | ○ | | |
| 固定装置 | 固定用タイダウンベルト(黄) | ○ | ○ | ○ | | ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどがあるときには交換 |

## 日常点検

固定装置の日常点検は、使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検です。

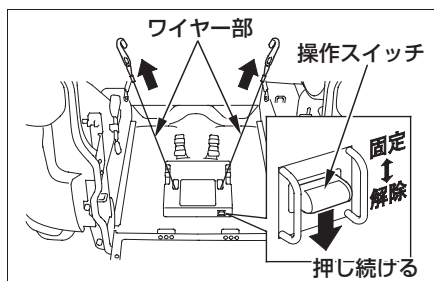
**●作動のスムーズさ・異音の点検**

固定装置操作スイッチを押して装置がスムーズに作動するか、異音がないかを点検します。

**●ワイヤーの点検**

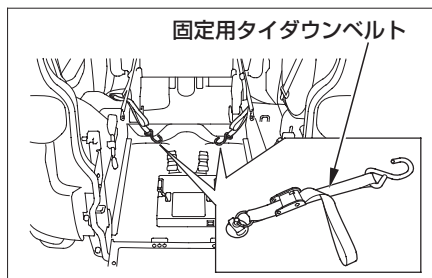
固定装置操作スイッチを"解除"方向へ装置のモーターが停止するまで押し続けます。

固定用ワイヤーフックを引き出して、ワイヤー部に切損、腐食がないか点検します。

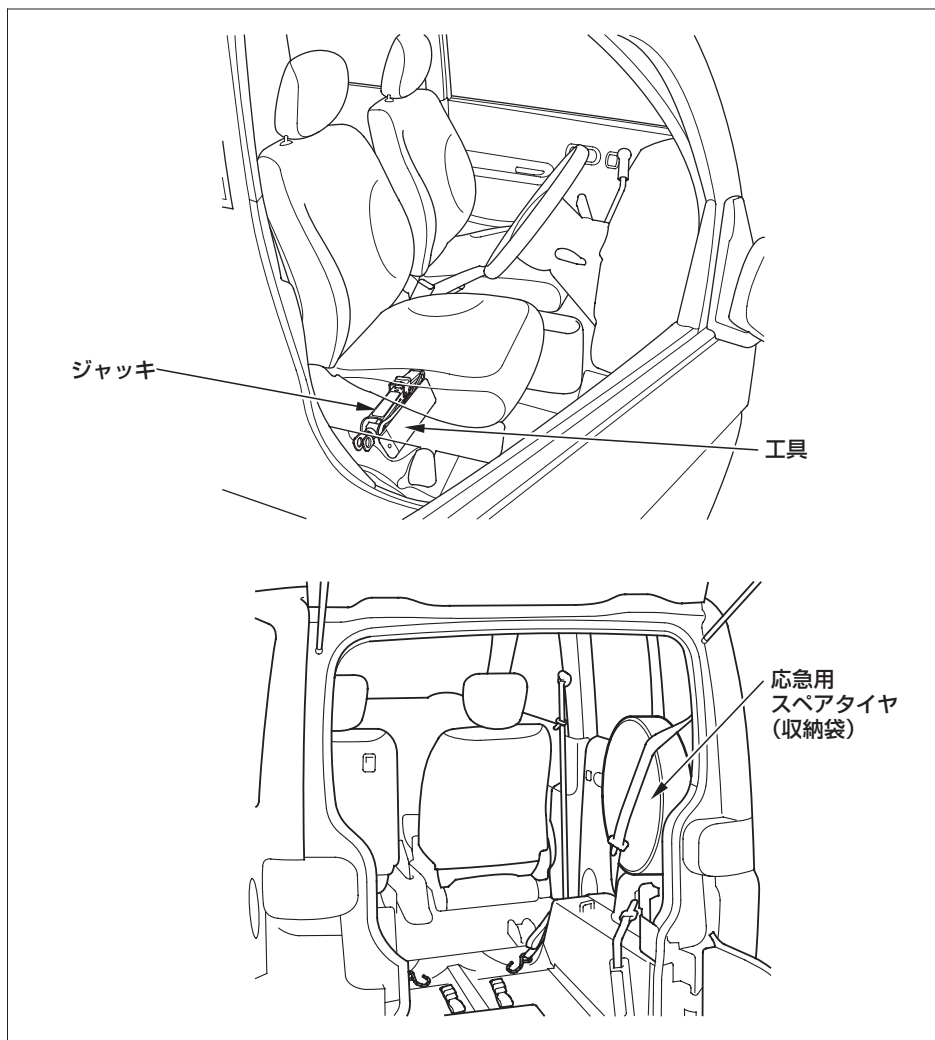
ワイヤー部
操作スイッチ
固定
解除
押し続ける

**●固定用タイダウンベルトの点検**

固定用タイダウンベルトにほつれ、すりきれ、破れなどがあるときは交換してください。

・ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたしてふき取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

固定用タイダウンベルト

# 万一のとき

## 工具・スペアタイヤ

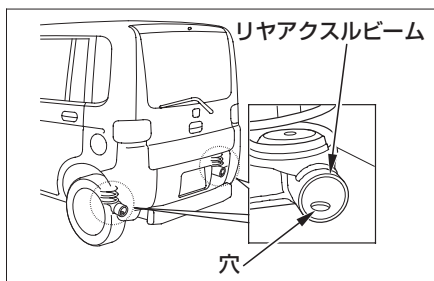
### ●工具・スペアタイヤの格納場所



工具の種類　→That's取扱説明書

## 動けなくなったとき

脱輪などをして後方へ引き出す場合は、リヤアクスルビームの穴にロープをかけてください。

リヤアクスルビーム

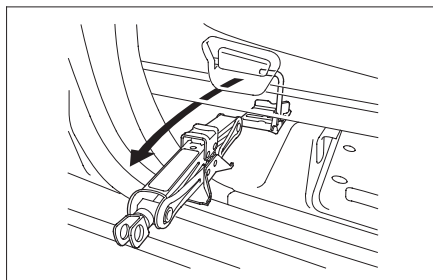
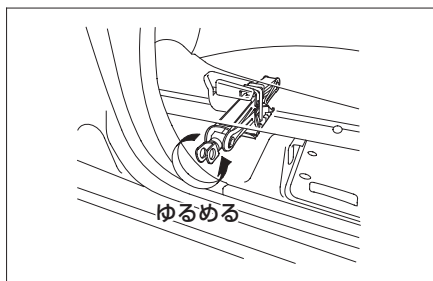
穴

アドバイス

- 後方へ引き出すとき、ロープを引く方向によってはバンパーなどにあたり、破損するおそれがあります。
- ワイヤーロープや金属チェーンなどを使って後方へ引き出すときは、車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。そのまま引き出すと、バンパーに傷をつけるおそれがあります。

## ジャッキの取り扱い

**●ジャッキの取り出しかた**

ジャッキをゆるめて少し持ち上げるようにして手前に引きます。

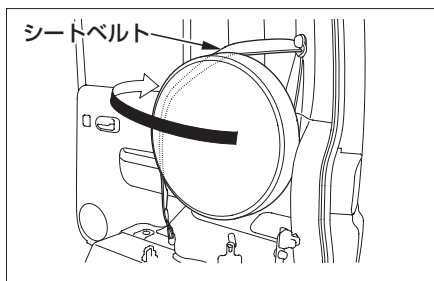
ゆるめる

知 識

- ジャッキ使用後は、走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。

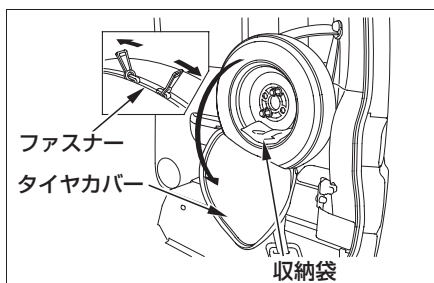
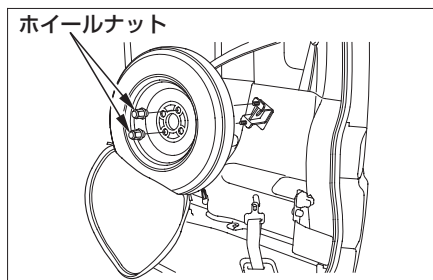
## パンクしたとき

### ●応急用スペアタイヤの取り外し

① リヤシート装備車

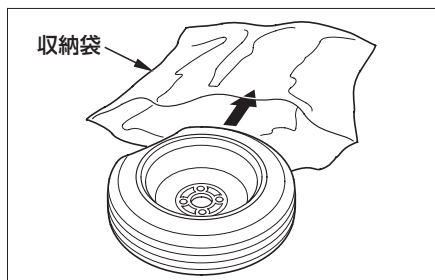
後席右側のシートベルトを応急用スペアタイヤの裏側にまわします。

シートベルト

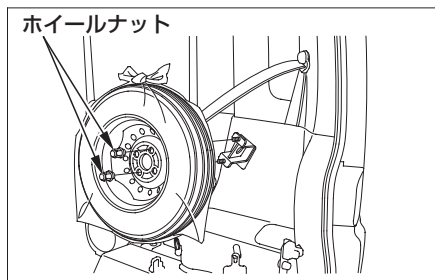
②応急用スペアタイヤカバーのファスナーを開いて収納袋を取り出します。

ファスナー
タイヤカバー
収納袋

③ホイールナットレンチでホイールナットを交互にゆるめ外します。

ホイールナット

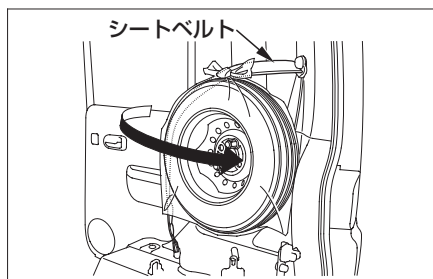
## ●標準タイヤの取り付け

①パンクしたタイヤを収納袋に入れます。

収納袋

②タイヤを所定の位置に取り付け、ホイールレンチでホイールナットを交互に締め付けます。

ホイールナット

③ リヤシート装備車

後席右側のシートベルトを元に戻します。

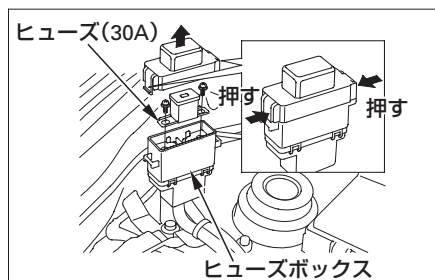
シートベルト

## ロアゲートランプが点灯しないとき、固定装置が作動しないとき

バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

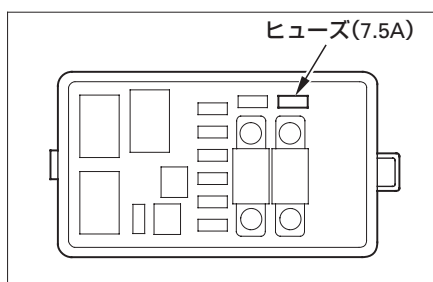
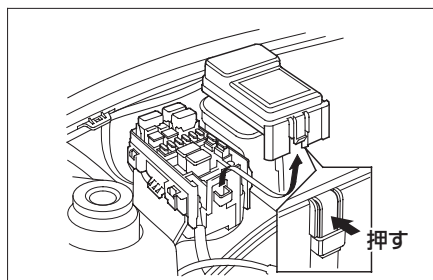
①バッテリーの㊀端子を外してください。
②ヒューズが切れていないかを点検します。
  ・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズラベルで確認し、点検します。
③必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

### ●ヒューズの点検、交換

#### ヒューズボックスの位置

・エンジンルーム内


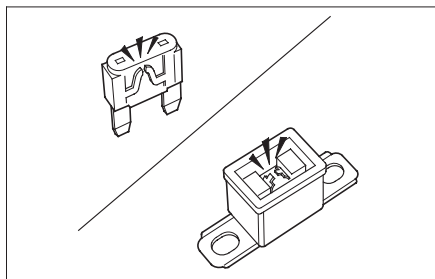

・ヒューズの装備と容量

| 装　　備 | 容　量 |
|---|---|
| 固定装置 | 30A |





・ヒューズの装備と容量

| 装　　備 | 容　量 |
|---|---|
| バックアップ(ロアゲートランプ) | 7.5A |

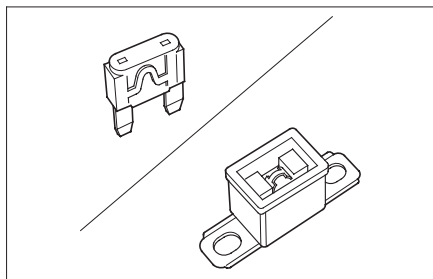
## ヒューズが切れているとき

ヒューズラベルの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

**アドバイス**

- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。
  配線コードなどを焼損させる原因となります。

**知　識**

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダプリモ店で点検を受けてください。

## ヒューズが切れていないとき

- ヒューズが切れていないのにロアゲートランプが点灯しないときは、電球切れが考えられます。
  電球を点検し、切れているときは交換してください。

電球(バルブ)の交換　→44ページ

**知　識**

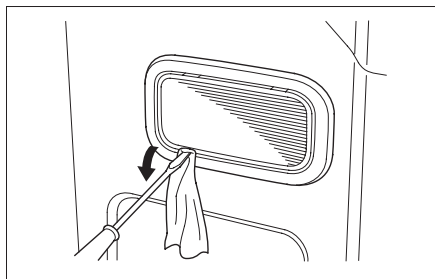
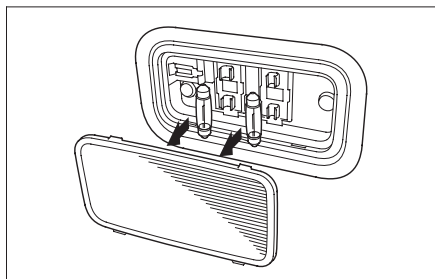
- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダプリモ店で点検を受けてください。

- ヒューズが切れていないのに、固定装置が作動しないときは、装置の故障が考えられますので、ホンダプリモ店で点検を受けてください。

車いすの固定を手動で解除するとき
→44ページ

## ●電球(バルブ)の交換

### ロアゲートランプ

①レンズを外します。

②電球を抜き取ります。

知 識

- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違うものを使わないでください。

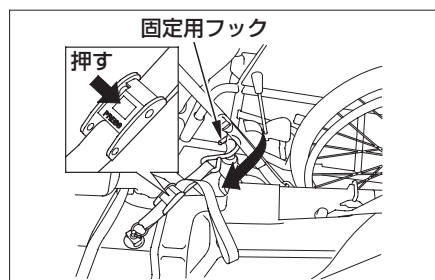
電球のワット数 →46ページ

## ●車いすの固定を手動で解除するとき

装置が故障した場合、次の方法で車いすの固定を解除してください。

①左右2カ所にある、固定用タイダウンベルト(黄)の"PRESS"と表示されている部分を押してベルトをゆるめ、固定用フックを外します。

固定用フック

押す

②車いすを少し後ろに動かして、固定用ワイヤーフックを外します。
③なるべく早くホンダプリモ店で点検を受けてください。

**⚠注意**

- 装置が故障したときは、車いすでの乗車はしないでください。
  車いすの固定が確実にできないので、ブレーキや衝突のときなどに車いすが動いたり、倒れたりして傷害を受けるおそれがあります。

## バックドアの解錠ができないとき

テールゲートの解錠ができないとき

→That's取扱説明書

# サービスデータ

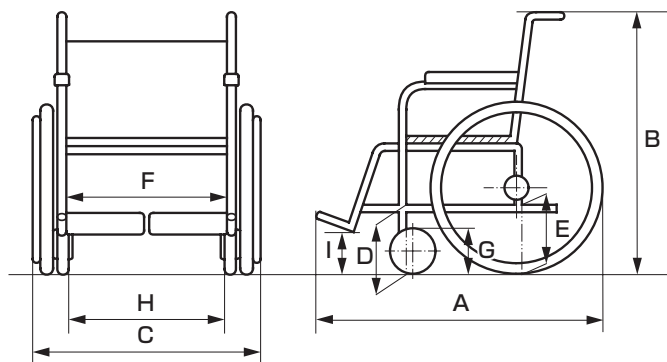
## サービスデータ

<table>
<tr><th colspan="2">項　　目</th><th colspan="3">サ ー ビ ス デ ー タ</th></tr>
<tr><td>電球(バルブ)</td><td>W(ワット)数</td><td colspan="3">ロアゲートランプ ·····················12V-5W</td></tr>
<tr><td>燃　料</td><td>タンク容量</td><td colspan="3">25ℓ</td></tr>
<tr><td>スロープ</td><td>耐荷重</td><td colspan="3">200kg</td></tr>
<tr><td rowspan="5">乗 車 定 員 (人)</td><td rowspan="3">リヤシート装備車</td><td colspan="2">車いすご利用の方が乗車される場合</td><td>3<br>(車いすご利用の方も含む)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">車いすご利用の方が乗車されない場合</td><td>リヤシート非使用時</td><td>2</td></tr>
<tr><td>リヤシート使用時</td><td>4</td></tr>
<tr><td rowspan="2">リヤシート非装備車</td><td colspan="2">車いすご利用の方が乗車される場合</td><td>3<br>(車いすご利用の方も含む)</td></tr>
<tr><td colspan="2">車いすご利用の方が乗車されない場合</td><td>2</td></tr>
</table>

## 乗車可能な車いすのサイズ

乗車可能な車いすのサイズは下表のようになっていますので、車いすを購入されるときに、あらかじめ確認してください。なお、下記条件を満たしている場合でも形状によっては乗車のできない車いすがあります。

| 項目　　　　　　　　　　　タイプ | | 自走式、介護式 |
|---|---|---|
| A：全　　　　　　長 | (mm) | 1,100以下 |
| B：全　　　　　　高 | (mm) | 1,200以下 |
| C：全　　　　　　幅 | (mm) | 670以下 |
| D：フロントフックポイント高さ | (mm) | 150〜210 |
| E：リヤフックポイント高さ | (mm) | 200〜270 |
| F：フックポイント幅 | (mm) | 420〜500 |
| G：前　　輪　　径 | {インチ(mm)} | 9 (230)以下 |
| H：前輪内側幅 | (mm) | 350以上 |
| I：フットプレート高さ | (mm) | 100以上 |

HONDA
The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、ホンダプリモ店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

30SHP601
00X30-SHP-6010